

# BIO SERIES

# 目次

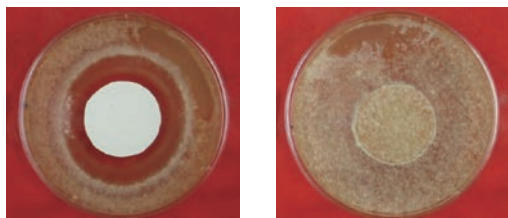
■ 下地処理方法	2
水系高耐候性ラジカルプロテクト・アクリルシリコンハイブリッド樹脂塗料	
■ ウォールバリア水性 BIO シリーズ	3
・ウォールバリア水性 BIO つや有り ・7分つや ・5分つや ・3分つや	
弱溶剤系高耐候性ラジカルプロテクト 1 液反応硬化形 NAD アクリルシリコンハイブリッド樹脂塗料	
■ 1 液ワイドウォール BIO シリーズ	4
・1 液ワイドウォール BIO つや有り ・7分つや ・5分つや ・3分つや	
水系高耐候性ラジカルプロテクト 2 液形アクリルシリコンハイブリッド樹脂塗料	
■ ウォールバリア弾性 BIO-2 シリーズ	5
・ウォールバリア弾性 BIO-2 つや有り ・7分つや ・5分つや ・3分つや	
水系高耐候性ラジカルプロテクト 1 液反応硬化形アクリルシリコンハイブリッド樹脂塗料	
■ ウォールバリア水性シリコン BIO シリーズ	6
・ウォールバリア水性シリコン BIO つや有り ・7分つや ・5分つや ・3分つや	
弱溶剤系高耐候性ラジカルプロテクト 2 液形アクリルシリコンハイブリッド樹脂塗料	
■ ワイドエポーレウォール BIO シリーズ	7
・ワイドエポーレウォール BIO つや有り ・7分つや ・5分つや ・3分つや	
水系高耐候性 1 液反応硬化形ハイブリッド樹脂塗料シリーズ	
■ エコ BIO シリーズ	8
・エコフツオ BIO つや有り ・7分つや ・5分つや ・3分つや	
・エコシリコン BIO つや有り ・7分つや ・5分つや ・3分つや ・つや消し	
・エコウレタン BIO つや有り ・7分つや ・5分つや ・3分つや ・つや消し	
・エコ EM アクリル BIO つや有り ・7分つや ・5分つや ・3分つや	
超撥水高耐候ラジカル制御形つや消し塗料シリーズ	
■ ビーズコート BIO シリーズ	9
・ビーズコート無機 BIO ・ビーズコート BIO ・ビーズウォール BIO	
・ビーズコートフレッシュ BIO ・1 液ワイドビーズコート BIO	
汎用形合成樹脂エマルジョン塗料シリーズ	
■ AEP クリーン 70BIO シリーズ	11
・AEP クリーン 70BIO つや有り ・7分つや ・5分つや ・3分つや ・つや消し	
内装用汚染除去性特殊シリコン変性エマルジョン塗料	
■ AEP モダン BIO	13
水性反応硬化形高機能エマルジョン塗料	
■ 水性モルコン BIO	14
アクリル樹脂系非水分散形塗料	
■ ニューモルコン BIO	15
■ BIO シーラーシリーズ	16
・サミプラホワイト BIO シーラー ・カチオンホワイト BIO シーラー ・ワイドシーラー BIO	

# BIO SERIES

安全性が配慮された持続性に優れる強力防かび・防藻最新技術により、建物内外壁を長期にわたり微生物汚染から守り、いつまでも美しさを保ちます。

また、高耐候性ラジカルプロテクト・ハイブリッド樹脂塗料や超撥水高耐候形つや消し塗料などの高性能塗料やJIS製品、水系・弱溶剤系と多彩な製品をラインアップしています。

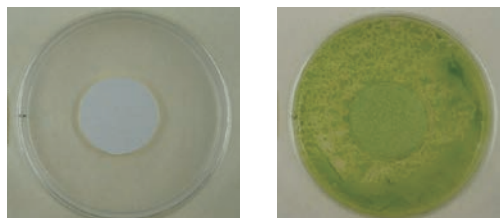
## 防かび試験(30日培養)



ウォールバリア水性BIO      一般水系つや有り塗料

防かび試験(JIS Z 2911)  
 Aspergillus niger(アスペルギルス)  
 Penicillium pinophilum(ペニシリウム)  
 Cladosporium cladosporioides(クラドスポリウム)  
 Aureobasidium pullulans(オーレオバシリウム)  
 Trichoderma virens(トリコデルマ)

## 防藻試験(30日培養)



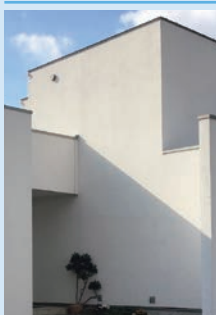
ウォールバリア水性BIO      一般水系つや有り塗料

防藻試験  
 Chlorella vulgaris(クロレラ)  
 Pleurococcus sp.(プレウロコックス)  
 Protococcus SH.(プロトコッカス)

### 塗装前



### 塗替後6年経過



### 塗装前



### 塗替後3年経過



### 塗装前



### 塗替後2年経過



## 下地処理方法

### 外部

高圧水洗、ブラシ、皮すきなどで  
かび・藻類・劣化塗膜を除去

不陸・段差等の補修

### 内部

ホワイトナーによる漂白処理

ホワイトナーの拭き取り

カビデッドによる除菌処理

劣化塗膜の除去、不陸・段差等の補修

## ホワイトナー・カビデッドの使用方法(内部用)

工程	塗料	調合(重量比)	標準塗付量(kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数	塗装間隔(23℃)	塗装方法
漂白処理	ホワイトナー	100	0.10~0.15	1	1時間以上	ポリエステルはけ・ブラシ スポンジ・ウールローラー
	残剤拭き取り	濡れウエスで入念に拭き取りを行い ホワイトナーを除去				16時間以上
除菌処理	カビデッド	100	0.10~0.15	1~2	4時間以上	はけ ウールローラー

注1) ホワイトナー・カビデッドのスプレーによる塗付は絶対に行わないでください。

注2) ホワイトナーは塩素系製品であるため、酸性タイプの製品と一緒に使用すると、塩素ガスが発生するため危険ですので、他の薬剤と混合しないよう十分に注意してください。

注3) かびの発生がひどい場合や、下地の吸い込みが大きい場合は、カビデッドを2回塗付してください。

# ウォールバリア水性 BIO

系 統	水系高耐候性ラジカルプロテクト・アクリルシリコンハイブリッド樹脂塗料
仕 上 がり	つや有り・7分つや・5分つや・3分つや
色 相	白・黒・赤・赤さび色・オーカー色・黄色・紺・調色品（淡彩色・中彩色・濃彩色）
荷 姿	15kg・3kg
特 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境に配慮した安全性に優れるバイオ技術により、かびや藻の発生を長期にわたり抑制します。</li> <li>・高度なラジカル制御技術によりグレードアップした耐候性を有する水系塗料です。</li> <li>・タックフリー、帯電防止、親水性の効果により汚れを低減します。</li> </ul>

性 能	項 目		試験結果	品質規格（JIS K5660等に準ずる）
		容器の中に状態		合格
	塗装作業性		合格	支障がない。
	塗膜の外観		合格	正常である。
	低温安定性（-5℃）		合格	変質しない。
	表面乾燥性	常温乾燥	合格	2時間以内で表面乾燥する。
		低温乾燥	合格	4時間以内で表面乾燥する。
	隠ぺい率（白色及び淡彩色）		99	95以上
	鏡面光沢度（60度）		84	70以上（※つや有りのみ）
	耐水性		合格	異常がない。
	耐アルカリ性		合格	異常がない。
	耐洗浄性		合格	洗浄に耐える。
	耐湿潤冷熱繰返し性		合格	湿潤冷熱繰返しに耐える。
	促進耐候性		合格	光沢保持率が60%以上、白亜化の等級は1又は0で、色の変化の程度が見本品に比べて差がない。（※つや有りのみ）
	屋外曝露耐候性		合格	白亜化の等級は2、1又は0で、割れ、はがれ、膨れ及び穴がなく、色とつやとの変化の程度が見本品に比べて差がない。
	防かび性	かびの発生なし		JIS Z2911 かび抵抗性試験方法に準じる。
	防藻性	藻の発生なし		寒天培地法による。

用 途 建築物内外壁など

適用素地 窯業系サイディングボード・コンクリート・モルタル・ALCパネル・スレートなど

工 程	塗 料	調合	標準塗付量	塗回数	塗装間隔	塗装方法	
		(重量比)	(kg/m <sup>2</sup> /回)		(23℃)		
1	下地調整	新設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・素地を十分に乾燥させる。（含水率10%以下、pH10以下）</li> <li>・素地のレイタンス・エフロレッセンス・汚れは除去し、巣穴・不陸・目違いなどは予めラフトンカチオンSCフィラーなどの建築用下地調整塗材で補修する。</li> </ul>				
		改修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存塗膜の浮き・ふくれ・ぜい弱部などはサンダー・皮スキなどを用いて除去する。</li> <li>・汚れ・じんあい及びチョーキングなどの劣化塗膜を高圧水洗（水圧：15MPa以上）で除去する。</li> <li>・水洗い面を乾燥させる。</li> <li>・既存塗膜の段差・不陸の箇所を同一模様になる塗材で復元する。</li> </ul>				
2	下塗	サンプラホワイトBIOシーラー 清 水	100 5～20	0.07～0.11	1	3時間以上	はけ塗り・エアレス塗り ウールローラー塗り
3	上塗	ウォールバリア水性BIO (各つや) 清 水	100 5～15	0.12～0.2	2	3時間以上 (最終養生) 24時間以上	はけ塗り・エアレス塗り ウールローラー塗り

使用可能下塗：サンプラホワイトBIOシーラー・カチオンホワイトBIOシーラー・ワイドシーラーBIO

# 1液ワイドウォール BIO

系 統	弱溶剤系高耐候性ラジカルプロテクト 1液反応硬化形 NAD アクリルシリコンハイブリッド樹脂塗料
仕 上 ぎ	つや有り・7分つや・5分つや・3分つや
色 相	白・黒・赤・赤さび色・オーカー色・黄色・紺・調色品（淡彩色・中彩色・濃彩色）
荷 姿	15kg・3kg
特 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境に配慮した安全性に優れたバイオ技術により、かびや藻の発生を長期にわたり抑制します。</li> <li>・高度なラジカル制御技術によりグレードアップした耐候性を有する弱溶剤系1液反応硬化形塗料です。</li> <li>・タックフリー、帯電防止の効果により汚れを低減します。</li> </ul>

性 能		項 目	試験結果	品質規格
		容器の中に状態	合格	堅い塊がなく一様な状態。(JIS K5600-1-1)
		塗膜の外観	合格	正常である。(JIS K5600-1-1)
表面乾燥性	常温乾燥	合格	8時間以内で表面乾燥する。(Wet膜厚 150 μm)	
	低温乾燥	合格	16時間以内で表面乾燥する。(Wet膜厚 150 μm)	
		鏡面光沢度 (60度)	合格	70以上 (ガラス板、Wet膜厚 150 μm) (※つや有りのみ)
		耐衝撃性	合格	高さ30cmから500gのおもりを落下(落球式)割れ及びはがれが生じない。
		付着性 (クロスカット法)	合格	分類1又は分類0である。(JIS K56005-6)
		重ね塗り適合性	合格	支障がない。(JIS K5658-7-12)
		耐アルカリ性	合格	異常がない。(JIS K5658-7-13)
		耐酸性	合格	異常がない。(JIS K5658-7-14)
		耐湿潤冷熱繰返し性	合格	湿潤冷熱繰返しに耐える。(JIS K5658-7-15)
		促進耐候性	合格	キセノンウエザーメーター 2500時間照射後、塗膜に割れ、はがれ及び膨れがないこと。
		防かび性	かびの発生なし	JIS Z2911 かび抵抗性試験方法に準じる。
		防藻性	藻の発生なし	寒天培地法による。

用 途 建築物内外壁など

適用素地 窯業系サイディングボード・コンクリート・モルタル・ALCパネル・スレートなど

工 程	塗 料	調合 (重量比)	標準塗付量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数	塗装間隔 (23℃)	塗装方法
1 下地調整	新設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・素地を十分に乾燥させる。(含水率10%以下、pH10以下)</li> <li>・素地のレイタンス・エフロッセンス・汚れは除去し、巣穴・不陸・目違いなどは予めラフトンカチオンSCフィラーなどの建築用下地調整塗材で補修する。</li> </ul>				
	改修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存塗膜の浮き・ふくれ・ぜい弱部などはサンダー・皮スキなどを用いて除去する。</li> <li>・汚れ・じんあい及びチョーキングなどの劣化塗膜を高圧水洗(水圧:15MPa以上)で除去する。</li> <li>・水洗い面を乾燥させる。</li> <li>・既存塗膜の段差・不陸の箇所を同一模様になる塗材で復元する。</li> </ul>				
2 下塗	ワイドシーラーBIO	100	0.08~0.17	1	3時間以上	はけ塗り・エアレス塗り ウールローラー塗り
3 上塗	1液ワイドウォールBIO (各つや) 塗料用シンナー	100 5~15	0.12~0.2	2	4時間以上 (最終養生) 24時間以上	はけ塗り・エアレス塗り ウールローラー塗り

注1) 既存塗膜を活膜として存続できる場合は、下塗りを省略することができます。  
注2) つや調製品は粘度が低い場合がありますのでご注意ください。特に、3分つやをはけやウールローラーで塗装する場合には、塗料用シンナーで0~5%希釈して塗装することを推奨します。

# ウォールバリア弾性 BIO-2

系 統	水系高耐候性ラジカルプロテクト 2 液形アクリルシリコンハイブリッド樹脂塗料
仕 上 がり	つや有り・7 分つや・5 分つや・3 分つや
色 相	白・黒・赤・赤さび色・オーカー色・黄色・紺・調色品（淡彩色・中彩色・濃彩色）
荷 姿	15kg セット（主剤 14：硬化剤 1）・3kg セット（主剤 2.8：硬化剤 0.2）
特 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境に配慮した安全性に優れるバイオ技術により、かびや藻の発生を長期にわたり抑制します。</li> <li>・WB リメーカーサーフ NB と組み合わせることでシーリング目地部分の汚染制御やひび割れを低減します。</li> <li>・高度なラジカル制御技術によりグレードアップした耐候性を有する水系 2 液形塗料です。</li> <li>・タックフリー、帯電防止、親水性の効果により汚れを低減します。</li> </ul>

性 能	項 目		試験結果	品質規格（JIS K5660 等に準ずる）
	容器の中に状態			合格
塗装作業性			合格	支障がない。
塗膜の外観			合格	正常である。
低温安定性（-5℃）			合格	変質しない。
表面乾燥性	常温乾燥		合格	2 時間以内で表面乾燥する。
	低温乾燥		合格	4 時間以内で表面乾燥する。
隠ぺい率（白色及び淡彩色）			97	95 以上
鏡面光沢度（60 度）			81	70 以上（※つや有りのみ）
耐水性			合格	異常がない。
耐アルカリ性			合格	異常がない。
耐洗浄性			合格	洗浄に耐える。
耐湿潤冷熱繰返し性			合格	湿潤冷熱繰返しに耐える。
促進耐候性			合格	光沢保持率が60%以上、白亜化の等級は1又は0で、色の変化の程度が見本品に比べて差がない。（※つや有りのみ）
屋外曝露耐候性			合格	白亜化の等級は 2、1 又は 0 で、割れ、はがれ、膨れ及び穴がなく、色とつやとの変化の程度が見本品に比べて差がない。
防かび性	かびの発生なし		合格	JIS Z2911 かび抵抗性試験方法に準じる。
防藻性	藻の発生なし		合格	寒天培地法による。

用 途	建築物内外壁など
-----	----------

適用素地	窯業系サイディングボード・コンクリート・モルタル・ALC パネル・スレートなど
------	---

塗 装 仕 様	工 程	塗 料	調合	標準塗付量	塗回数	塗装間隔	塗装方法
			(重量比)	(kg/m <sup>2</sup> /回)			
1	下地調整	新設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・素地を十分に乾燥させる。（含水率 10% 以下、pH10 以下）</li> <li>・素地のレイタンス・エフロレッセンス・汚れは除去し、巣穴・不陸・目違いなどは予めラフトンカチオンSCフィラーなどの建築用下地調整塗材で補修する。</li> </ul>				
		改修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存塗膜の浮き・ふくれ・ぜい弱部などはサンダー・皮スキなどを用いて除去する。</li> <li>・汚れ・じんあい及びチョーキングなどの劣化塗膜を高圧水洗（水圧：15MPa 以上）で除去する。</li> <li>・水洗い面を乾燥させる。</li> <li>・既存塗膜の段差・不陸の箇所を同一模様になる塗材で復元する。</li> </ul>				
2	下塗	サンプラホワイトBIOシーラー 清 水	100 5～20	0.07～0.11	1	3 時間以上	はけ塗り・エアレス塗り ウールローラー塗り
3	上塗	ウォールバリア弾性 BIO-2 (各つや) 清 水	100 5～10	0.12～0.2	2	3 時間以上 (最終養生) 24 時間以上	はけ塗り・エアレス塗り ウールローラー塗り

使用可能下塗：サンプラホワイト BIO シーラー・カチオンホワイト BIO シーラー・ワイドシーラー BIO WB リメーカーサーフ NB

< 可使時間 >

気温	可使時間
5～15℃	8 時間
15～25℃	5 時間
25～35℃	3 時間



# ウォールバリア水性シリコンBIO

系 統	水系高耐候性ラジカルプロテクト 1 液反応硬化形アクリルシリコンハイブリッド樹脂塗料
仕 上 げ	つや有り・7 分つや・5 分つや・3 分つや
色 相	白・黒・赤・赤さび色・オーカー色・黄色・紺・調色品（淡彩色・中彩色・濃彩色）
荷 姿	15kg・3kg
特 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境に配慮した安全性に優れるバイオ技術により、かびや藻の発生を長期にわたり抑制します。</li> <li>・WB リメイクサーフ NB と組み合わせることでシーリング目地部分の汚染制御やひび割れを低減します。</li> <li>・高度なラジカル制御技術によりグレードアップした耐候性を有する水系 1 液反応硬化形塗料です。</li> <li>・タックフリー、帯電防止、親水性の効果により汚れを低減します。</li> </ul>

性 能	項 目	試験結果	品質規格（JIS K5660 等に準ずる）
	容器の中に状態	合格	堅い塊がなくて一様になる。
	塗装作業性	合格	支障がない。
	塗膜の外観	合格	正常である。
	低温安定性（-5℃）	合格	変質しない。
	表面乾燥性	常温乾燥	2 時間以内で表面乾燥する。
		低温乾燥	4 時間以内で表面乾燥する。
	隠ぺい率%（白色及び淡彩色）	97	95 以上
	鏡面光沢度（60 度）	81	70 以上（※つや有りのみ）
	耐水性	合格	異常がない。
	耐アルカリ性	合格	異常がない。
	耐洗浄性	合格	洗浄に耐える。
	耐湿潤冷熱繰返し性	合格	湿潤冷熱繰返しに耐える。
	促進耐候性	合格	光沢保持率が60%以上、白亜化の等級は1又は0で、色の変化の程度が見本品に比べて差がない。（※つや有りのみ）
	屋外曝露耐候性	合格	白亜化の等級は 2、1 又は 0 で、割れ、はがれ、膨れ及び穴がなく、色とつやとの変化の程度が見本品に比べて差がない。
	防かび性	かびの発生なし	JIS Z2911 かび抵抗性試験方法に準じる。
	防藻性	藻の発生なし	寒天培地法による。

用 途	建築物内外壁など
-----	----------

適用素地	窯業系サイディングボード・コンクリート・モルタル・ALC パネル・スレートなど
------	---

塗 装 仕 様	工 程	塗 料	調 合 (重量比)	標 準 塗 付 量 (kg/m <sup>2</sup> / 回)	塗 回 数	塗 装 間 隔 (23℃)	塗 装 方 法
1	下地調整	新設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・素地を十分に乾燥させる。（含水率 10% 以下、pH10 以下）</li> <li>・素地のレイタンス・エフロレッセンス・汚れは除去し、巣穴・不陸・目違いなどは予めラフトンカチオンSCフィラーなどの建築用下地調整塗材で補修する。</li> </ul>				
		改修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存塗膜の浮き・ふくれ・ぜい弱部などはサンダー・皮スキなどを用いて除去する。</li> <li>・汚れ・じんあい及びチョーキングなどの劣化塗膜を高圧水洗（水圧：15MPa 以上）で除去する。</li> <li>・水洗い面を乾燥させる。</li> <li>・既存塗膜の段差・不陸の箇所を同一模様になる塗材で復元する。</li> </ul>				
2	下塗	サンプラホワイト BIO シーラー 清 水	100 5 ~ 20	0.07 ~ 0.11	1	3 時間以上	はけ塗り・エアレス塗り ウールローラー塗り
3	上塗	ウォールバリア水性シリコン BIO (各つや) 清 水	100 5 ~ 15	0.12 ~ 0.2	2	3 時間以上 (最終養生) 24 時間以上	はけ塗り・エアレス塗り ウールローラー塗り

使用可能下塗：サンプラホワイト BIO シーラー・カチオンホワイト BIO シーラー・ワイドシーラー BIO  
WB リメイクサーフ NB

# ワイドエポーレウォールBIO

系 統	弱溶剤系高耐候性ラジカルプロテクト2液形アクリルシリコンハイブリッド樹脂塗料																																																			
仕 上 げ	つや有り・7分つや・5分つや・3分つや																																																			
色 相	白・黒・赤・赤さび色・オーカー色・黄色・紺・調色品（淡彩色・中彩色・濃彩色）																																																			
荷 姿	14kgセット（主剤13：硬化剤1）・2.8kgセット（主剤2.6：硬化剤0.2）																																																			
特 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境に配慮した安全性に優れるバイオ技術により、かびや藻の発生を長期にわたり抑制します。</li> <li>・WBリメークサーフNBと組み合わせることでシーリング目地部分の汚染制御やひび割れを低減します。</li> <li>・高度なラジカル制御技術によりグレードアップした耐候性を有する弱溶剤系2液形塗料です。</li> <li>・タックフリー、帯電防止の効果により汚れを低減します。</li> </ul>																																																			
性 能	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>試験結果</th> <th>品質規格（JIS K 5658 2級等に準ずる）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>容器の中に状態</td> <td>合格</td> <td>堅い塊がなく一様になる。</td> </tr> <tr> <td>塗膜の外観</td> <td>合格</td> <td>正常である。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">表面乾燥性</td> <td>23℃</td> <td>8時間以内で表面乾燥する。(Wet 末厚 150 μm)</td> </tr> <tr> <td>5℃</td> <td>16時間以内で表面乾燥する。(Wet 末厚 150 μm)</td> </tr> <tr> <td>ポットライフ</td> <td>合格</td> <td>5時間</td> </tr> <tr> <td>隠ぺい率（白色及び淡彩色）</td> <td>合格</td> <td>白・淡彩は90以上、鮮明な赤及び黄色は50以上、その他の色は80以上 (Wet 末厚 150 μm)</td> </tr> <tr> <td>鏡面光沢度（60度）</td> <td>合格</td> <td>70以上（ガラス板、Wet 末厚 150 μm）（※つや有りのみ）</td> </tr> <tr> <td>耐衝撃性</td> <td>合格</td> <td>高さ30cmから500gのおもりを落下（落球式）割れ及びはがれを生じない。</td> </tr> <tr> <td>付着性（クロスカット法）</td> <td>合格</td> <td>分類1又は分類0である。</td> </tr> <tr> <td>重ね無理適合性</td> <td>合格</td> <td>支障がない。</td> </tr> <tr> <td>耐アルカリ性</td> <td>合格</td> <td>異常がない。</td> </tr> <tr> <td>耐酸性</td> <td>合格</td> <td>異常がない。</td> </tr> <tr> <td>耐湿潤冷熱繰返し性</td> <td>合格</td> <td>湿潤冷熱繰返しに耐える。</td> </tr> <tr> <td>促進耐候性</td> <td>合格</td> <td>1200時間照射後塗膜に割れ・はがれ及び膨れがなく、光沢保持率が80%以上であること。 （※光沢保持率はつや有りのみ）</td> </tr> <tr> <td>防かび性</td> <td>かびの発生なし</td> <td>JIS Z2911 かび抵抗性試験方法に準じる。</td> </tr> <tr> <td>防藻性</td> <td>藻の発生なし</td> <td>寒天培地法による。</td> </tr> </tbody> </table>	項 目	試験結果	品質規格（JIS K 5658 2級等に準ずる）	容器の中に状態	合格	堅い塊がなく一様になる。	塗膜の外観	合格	正常である。	表面乾燥性	23℃	8時間以内で表面乾燥する。(Wet 末厚 150 μm)	5℃	16時間以内で表面乾燥する。(Wet 末厚 150 μm)	ポットライフ	合格	5時間	隠ぺい率（白色及び淡彩色）	合格	白・淡彩は90以上、鮮明な赤及び黄色は50以上、その他の色は80以上 (Wet 末厚 150 μm)	鏡面光沢度（60度）	合格	70以上（ガラス板、Wet 末厚 150 μm）（※つや有りのみ）	耐衝撃性	合格	高さ30cmから500gのおもりを落下（落球式）割れ及びはがれを生じない。	付着性（クロスカット法）	合格	分類1又は分類0である。	重ね無理適合性	合格	支障がない。	耐アルカリ性	合格	異常がない。	耐酸性	合格	異常がない。	耐湿潤冷熱繰返し性	合格	湿潤冷熱繰返しに耐える。	促進耐候性	合格	1200時間照射後塗膜に割れ・はがれ及び膨れがなく、光沢保持率が80%以上であること。 （※光沢保持率はつや有りのみ）	防かび性	かびの発生なし	JIS Z2911 かび抵抗性試験方法に準じる。	防藻性	藻の発生なし	寒天培地法による。	
項 目	試験結果	品質規格（JIS K 5658 2級等に準ずる）																																																		
容器の中に状態	合格	堅い塊がなく一様になる。																																																		
塗膜の外観	合格	正常である。																																																		
表面乾燥性	23℃	8時間以内で表面乾燥する。(Wet 末厚 150 μm)																																																		
	5℃	16時間以内で表面乾燥する。(Wet 末厚 150 μm)																																																		
ポットライフ	合格	5時間																																																		
隠ぺい率（白色及び淡彩色）	合格	白・淡彩は90以上、鮮明な赤及び黄色は50以上、その他の色は80以上 (Wet 末厚 150 μm)																																																		
鏡面光沢度（60度）	合格	70以上（ガラス板、Wet 末厚 150 μm）（※つや有りのみ）																																																		
耐衝撃性	合格	高さ30cmから500gのおもりを落下（落球式）割れ及びはがれを生じない。																																																		
付着性（クロスカット法）	合格	分類1又は分類0である。																																																		
重ね無理適合性	合格	支障がない。																																																		
耐アルカリ性	合格	異常がない。																																																		
耐酸性	合格	異常がない。																																																		
耐湿潤冷熱繰返し性	合格	湿潤冷熱繰返しに耐える。																																																		
促進耐候性	合格	1200時間照射後塗膜に割れ・はがれ及び膨れがなく、光沢保持率が80%以上であること。 （※光沢保持率はつや有りのみ）																																																		
防かび性	かびの発生なし	JIS Z2911 かび抵抗性試験方法に準じる。																																																		
防藻性	藻の発生なし	寒天培地法による。																																																		

用 途 建築物内外壁など

適用素地 窯業系サイディングボード・コンクリート・モルタル・ALCパネル・スレートなど

工 程	塗 料	調合 (重量比)	標準塗付量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数	塗装間隔 (23℃)	塗装方法	
							新設
1	下地調整						
							<ul style="list-style-type: none"> <li>・素地を十分に乾燥させる。(含水率10%以下、pH10以下)</li> <li>・素地のレイタンス・エフロレッセンス・汚れは除去し、巣穴・不陸・目違いなどは予めラフトンカチオンSCフィラーなどの建築用下地調整塗材で補修する。</li> </ul>
2	下塗	ワイドシーラー BIO	100	0.08～0.17	1	3時間以上	はけ塗り・エアレス塗り ウールローラー塗り
3	上塗	ワイドエポーレウォール BIO (各つや) 塗料用シンナー	100 0～20	0.10～0.16	2	5時間以上 7日以内 (最終養生) 24時間以上	はけ塗り・エアレス塗り ウールローラー塗り

注1) 既存塗膜を活膜として存続できる場合は、下塗りを省略することができます。  
注2) つや調製品は粘度が低い場合がありますのでご注意ください。特に、3分つやをはけやウールローラーで塗装する場合には、塗料用シンナーで0～5%希釈して塗装することを推奨します。

<可使時間>

気温	可使時間
5～15℃	13時間
15～25℃	8時間
25～30℃	3時間



# エコ BIO シリーズ

系 統	水系高耐候性 1 液反応硬化形ハイブリッド樹脂塗料シリーズ
仕 上 げ	エコ EM アクリル BIO : つや有り・7 分つや・5 分つや・3 分つや エコウレタン BIO : つや有り・7 分つや・5 分つや・3 分つや・つや消し エコシリコン BIO : つや有り・7 分つや・5 分つや・3 分つや・つや消し (3 分つやのみ新設弾性塗材に使用不可) エコフツソ BIO : つや有り・7 分つや・5 分つや・3 分つや (3 分つやのみ新設弾性塗材に使用不可)
色 相	白・黒・赤・赤さび色・オーカー色・黄色・紺・調色品 (淡彩色・中彩色・濃彩色)
荷 姿	エコ EM アクリル BIO : 16kg・3kg エコシリコン BIO : 16kg・3kg エコウレタン BIO : 16kg・3kg エコフツソ BIO : 15kg・3kg
特 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境に配慮した安全性に優れるバイオ技術により、かびや藻の発生を長期にわたり抑制します。</li> <li>・高度なラジカル制御技術によりグレードアップした耐候性を有する水系 1 液反応硬化形塗料です。</li> <li>・タックフリー、帯電防止、親水性の効果により汚れを低減します。</li> </ul>

性 能		項 目	試験結果	品質規格 (JIS K5660 等に準ずる)
		容器の中に状態	合格	堅い塊がなくて一様になる。
		塗装作業性	合格	支障がない。
		塗膜の外観	合格	正常である。
		低温安定性 (-5°C)	合格	変質しない。
表面乾燥性	常温乾燥	合格	2 時間以内で表面乾燥する。	
	低温乾燥	合格	4 時間以内で表面乾燥する。	
		隠ぺい率% (白色及び淡彩色)	合格	95 以上
		鏡面光沢度 (60 度)	合格	70 以上 (※つや有りのみ)
		耐水性	合格	異常がない。
		耐アルカリ性	合格	異常がない。
		耐洗浄性	合格	洗浄に耐える。
		耐湿潤冷熱繰返し性	合格	湿潤冷熱繰返しに耐える。
		防かび性	かびの発生なし	JIS Z2911 かび抵抗性試験方法に準じる。
		防藻性	藻の発生なし	寒天培地法による。
促進耐候性		試験結果	品質規格 (JIS A6909 等に準ずる) ※つや有り限定	
エコ EM アクリル BIO		合格	照射時間600時間で、塗膜にひび割れ・はがれ及び膨れがなく、光沢保持率が80%以上で、変色の程度がグレースケール3号以上であり、白亜化の等級は1以下とする。	
エコウレタン BIO		合格	照射時間1200時間で、塗膜にひび割れ・はがれ及び膨れがなく、光沢保持率が80%以上で、変色の程度がグレースケール3号以上であり、白亜化の等級は1以下とする。	
エコシリコン BIO		合格	照射時間2500時間で、塗膜にひび割れ・はがれ及び膨れがなく、光沢保持率が80%以上で、変色の程度がグレースケール3号以上であり、白亜化の等級は1以下とする。	
エコフツソ BIO		合格	照射時間2500時間で、塗膜にひび割れ・はがれ及び膨れがなく、光沢保持率が80%以上で、変色の程度がグレースケール3号以上であり、白亜化の等級は1以下とする。	

用 途	建築物内外壁など
適用素地	窯業系サイディングボード・コンクリート・モルタル・ALC パネル・スレートなど

塗 装 仕 様		工 程	塗 料	調合 (重量比)	標準塗付量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数	塗装間隔 (23°C)	塗装方法
1	下地調整	新設	・素地を十分に乾燥させる。(含水率 10% 以下、pH10 以下) ・素地のレイタンス・エフロッセンス・汚れは除去し、巣穴・不陸・目違いなどは予めラフトンカチオンSCフィラーなどの建築用下地調整塗材で補修する。					
		改修	・既存塗膜の浮き・ふくれ・ぜい弱部などはサンダー・皮スキなどを用いて除去する。 ・汚れ・じんあい及びチョーキングなどの劣化塗膜を高圧水洗 (水圧 :15MPa 以上) で除去する。 ・水洗い面を乾燥させる。 ・既存塗膜の段差・不陸の箇所を同一模様になる塗材で復元する。					
2	下塗	サンプラホワイト BIO シーラー 清 水	100 5 ~ 20	0.07 ~ 0.11	1	3 時間以上	はけ塗り・エアレス塗り ウールローラー塗り	
3	上塗	エコ BIO シリーズ (各つや) 清 水	100 5 ~ 15	0.12 ~ 0.2	2	2 時間以上 (最終養生) 24 時間以上	はけ塗り・エアレス塗り ウールローラー塗り	

使用可能下塗 : サンプラホワイト BIO シーラー・カチオンホワイト BIO シーラー・ワイドシーラー BIO

# ビーズコート BIO シリーズ

系 統	超撥水高耐候ラジカル制御つや消し塗料シリーズ
仕 上 がり	つや消し・砂壁調（ビーズコートフレッシュのみ）
色 相	白・黒・赤・赤さび色・オーカー色・黄色・紺・調色品（淡彩色・中彩色・濃彩色）
荷 姿	ビーズコート BIO（水系特殊変性シリコーン樹脂塗料）：16kg・3kg ビーズコート無機 BIO（水系特殊変性無機有機ハイブリッド樹脂塗料）：15kg・3kg ビーズウォール BIO（水系特殊変性シリコーン樹脂塗料・NB システム対応）：16kg・3kg ビーズコートフレッシュ BIO（水系特殊変性シリコーン樹脂改修塗材）：20kg 1液ワイドビーズコート BIO（弱溶剤系 NAD 特殊変性シリコーン樹脂塗料）：15kg・4kg
特 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境に配慮した安全性に優れるバイオ技術により、かびや藻の発生を長期にわたり抑制します。</li> <li>・塗膜表面の微細突起構造と疎水特性により、ビーズの様に丸まった水滴が汚れを絡め取りながら転がり落ちることで、綺麗な塗膜を保ちます。</li> <li>・高度なラジカル制御技術によりグレードアップした耐候性を有するつや消し塗料です。</li> <li>・透湿性と防水性を兼ね備えた結露低減に貢献します。</li> </ul>
性 能	ビーズコート BIO・ビーズコート無機 BIO・ビーズウォール BIO

項 目		試験結果	品質規格（JIS K5663 等に準ずる）
容器の中に状態		合格	かき混ぜたとき、堅い塊がなくて一様になるものとする。
塗装作業性		合格	2回塗りで、塗装作業に支障があってはならない。
塗膜の外観		合格	塗膜の外観が正常であるものとする。
低温安定性（-5℃）		合格	変質してはならない。
乾燥時間	標準状態	合格	2時間以内
	5℃	合格	4時間以内
隠ぺい率%（白色及び淡彩色）		97～98	93以上
耐水性		合格	96時間浸したとき異常がないものとする。
耐アルカリ性		合格	48時間浸したとき異常がないものとする。
耐洗浄性		合格	500回の洗浄に耐えるものとする。
促進耐候性		合格	異常がない。
屋外曝露耐候性		合格	12ヶ月の試験で、膨れ、はがれ、及び割れがなく色の変化と白亜化の程度が見本品に比べて大きくないものとする。
防かび性		かびの発生なし	JIS Z2911 かび抵抗性試験方法に準じる。
防藻性		藻の発生なし	寒天培地法による。

## ビーズコートフレッシュ BIO

項 目		試験結果	品質規格（JIS A6909 可とう形外装薄塗材 E 等に準ずる）
低温安定性		合格	塊がなく、組成物の分離及び凝集がない。
初期乾燥によるひび割れ抵抗性		合格	ひび割れがない。
付着強さ N/mm <sup>2</sup>	標準状態	1.3	0.5以上
	浸水後	1.3	0.3以上
温冷繰返し		合格	試験体の表面に、ひび割れ、はがれ及び膨れがなく、かつ、著しい変色及び光沢低下がない。
透水性 A 法 mm		0.0	10.0以下
耐アルカリ性 A 法		合格	ひび割れ、はがれ、膨れ及び軟化溶出がなく、浸さない部分に比べて、くもり及び変色が著しくない。
耐洗浄性		合格	はがれ及び摩擦による基板の露出がない。
耐衝撃性		合格	ひび割れ、著しい変形及びはがれがない。
耐候性 A 法		合格	ひび割れ及びはがれがなく、変色の程度はグレースケール3号以上とする。
可とう性		合格	ひび割れがない。
防かび性		かびの発生なし	JIS Z2911 かび抵抗性試験方法に準じる。
防藻性		藻の発生なし	寒天培地法による。

## 1液ワイドビーズコート BIO

項 目		試験結果	品質規格（JIS K5670 等に準ずる）
容器の中に状態		合格	堅い塊がなくて一様になるものとする。
塗装作業性		合格	はけ塗りとびろーラーブラシ塗りに支障があってはならない。
塗膜の外観		合格	塗膜の外観が正常であるものとする。
乾燥時間（半硬化乾燥）		合格	5時間以内とする。
隠ぺい率%（白色及び淡彩色）		97	90以上
耐水性		合格	水に浸しても異常がないものとする。
耐アルカリ性		合格	アルカリに浸しても異常がないものとする。
促進耐候性		合格	塗膜に割れ、はがれ、膨れがなく、色の変化の程度が見本品と比べて大きくなく、白亜化の等級が1以下とする。
透湿度 g/m <sup>2</sup> ・24hr		120	JIS Z0208 防湿包装材料の透湿度試験方法（カップ法）による。
防かび性		かびの発生なし	JIS Z2911 かび抵抗性試験方法に準じる。
防藻性		藻の発生なし	寒天培地法による。

用途

建築物内外壁など

適用素地

窯業系サイディングボード・コンクリート・モルタル・ALC パネル・スレートなど

塗装仕様

ビーズコート BIO・ビーズコート無機 BIO・ビーズウォール BIO

工程	塗料	調合 (重量比)	標準塗付量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数	塗装間隔 (23℃)	塗装方法	
1	下地調整	新設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・素地を十分に乾燥させる。(含水率 10%以下、pH10 以下)</li> <li>・素地のレイタンス・エフロレッセンス・汚れは除去し、巣穴・不陸・目違いなどは予めラフトンカチオン SC フィラーなどの建築用下地調整塗材で補修する。</li> </ul>				
		改修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存塗膜の浮き・ふくれ・ぜい弱部などはサンダー・皮スキなどを用いて除去する。</li> <li>・汚れ・じんあい及びチョーキングなどの劣化塗膜を高圧水洗 (水圧: 15MPa 以上) で除去する。</li> <li>・水洗い面を乾燥させる。</li> <li>・既存塗膜の段差・不陸の箇所を同一模様になる塗材で復元する。</li> </ul>				
2	下塗	サンプラホワイト BIO シーラー 清 水	100 5 ~ 20	0.07 ~ 0.11	1	3 時間以上	はけ塗り・エアレス塗り ウールローラー塗り
3	上塗	ビーズコート BIO シリーズ 清 水	100 5 ~ 15	0.1 ~ 0.15	2	2 時間以上 (最終養生) 24 時間以上	はけ塗り・エアレス塗り ウールローラー塗り

使用可能上塗：ビーズコート BIO・ビーズコート無機 BIO・ビーズウォール BIO

使用可能下塗：サンプラホワイト BIO シーラー・カチオンホワイト BIO シーラー・ワイドシーラー BIO

ビーズコートフレッシュ BIO

工程	塗料	調合 (重量比)	標準塗付量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数	塗装間隔 (23℃)	塗装方法	
1	下地調整	新設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・素地を十分に乾燥させる。(含水率 10%以下、pH10 以下)</li> <li>・素地のレイタンス・エフロレッセンス・汚れは除去し、巣穴・不陸・目違いなどは予めラフトンカチオン SC フィラーなどの建築用下地調整塗材で補修する。</li> </ul>				
		改修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存塗膜の浮き・ふくれ・ぜい弱部などはサンダー・皮スキなどを用いて除去する。</li> <li>・汚れ・じんあい及びチョーキングなどの劣化塗膜を高圧水洗 (水圧: 15MPa 以上) で除去する。</li> <li>・水洗い面を乾燥させる。</li> <li>・既存塗膜の段差・不陸の箇所を同一模様になる塗材で復元する。</li> </ul>				
2	下塗	サンプラホワイト BIO シーラー 清 水	100 5 ~ 20	0.07 ~ 0.11	1	3 時間以上	はけ塗り・エアレス塗り ウールローラー塗り
3	上塗	ビーズコートフレッシュ BIO 清 水	100 5 ~ 15	0.3 ~ 0.5	2	3 時間以上 (最終養生) 24 時間以上	はけ塗り ウールローラー塗り リシガン吹付け [口径: 3.5 ~ 5.0mm] 吹付圧: 0.4MPa

使用可能下塗：サンプラホワイト BIO シーラー・カチオンホワイト BIO シーラー・ワイドシーラー BIO

1 液ワイドビーズコート BIO

工程	塗料	調合 (重量比)	標準塗付量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数	塗装間隔 (23℃)	塗装方法	
1	下地調整	新設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・素地を十分に乾燥させる。(含水率 10%以下、pH10 以下)</li> <li>・素地のレイタンス・エフロレッセンス・汚れは除去し、巣穴・不陸・目違いなどは予めラフトンカチオン SC フィラーなどの建築用下地調整塗材で補修する。</li> </ul>				
		改修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存塗膜の浮き・ふくれ・ぜい弱部などはサンダー・皮スキなどを用いて除去する。</li> <li>・汚れ・じんあい及びチョーキングなどの劣化塗膜を高圧水洗 (水圧: 15MPa 以上) で除去する。</li> <li>・水洗い面を乾燥させる。</li> <li>・既存塗膜の段差・不陸の箇所を同一模様になる塗材で復元する。</li> </ul>				
2	下塗	ワイドシーラー BIO	100	0.08 ~ 0.17	1	3 時間以上	はけ塗り・エアレス塗り ウールローラー塗り
3	上塗	1 液ワイドビーズコート BIO 塗料用シンナー	100 5 ~ 15	0.12 ~ 0.2	2	4 時間以上 (最終養生) 24 時間以上	はけ塗り・エアレス塗り ウールローラー塗り

使用可能下塗：ワイドシーラー BIO

# AEP クリーン 70BIO シリーズ

ホルムアルデヒド放散等級  
F☆☆☆☆  
内装仕上げの制限なし

系 統	汎用形合成樹脂エマルジョン塗料シリーズ
仕 上 がり	つや有り・7分つや、5分つや、3分つや・つや消し
色 相	白・黒・赤・赤さび色・オーカー色・黄色・紺・調色品（淡彩色・中彩色・濃彩色）
荷 姿	AEP クリーン 70BIO つや有り（つや有り合成樹脂エマルジョンペイント）：16kg・3kg AEP クリーン 70BIO 7分つや（合成樹脂エマルジョンペイント）：16kg・3kg AEP クリーン 70BIO 5分つや（合成樹脂エマルジョンペイント）：16kg・3kg AEP クリーン 70BIO 3分つや（合成樹脂エマルジョンペイント）：16kg・3kg AEP クリーン 70BIO つや消し（合成樹脂エマルジョンペイント）：16kg・3kg
特 長	・環境に配慮した安全性に優れるバイオ技術により、かびや藻の発生を長期にわたり抑制します。 ・VOC（揮発性有機化合物）成分及び臭気が少なく、室内空気汚染問題に有効な環境に優しい塗料です。
性 能	AEP クリーン 70BIO シリーズ（7・5・3分つや・つや消し）

項 目		試験結果	品質規格（JIS K 5663 1種等に準ずる）
容器の中に状態		合格	かき混ぜたとき、堅い塊がなくて一様になるものとする。
塗装作業性		合格	2回塗りで、塗装作業に支障があってはならない。
塗膜の外観		合格	塗膜の外観が正常であるものとする。
低温安定性（-5℃）		合格	変質してはならない。
乾燥時間	標準状態	合格	2時間以内
	5℃	合格	4時間以内
鏡面光沢度 （60度）	つや消し	—	—
	3分つや	17	
	5分つや	35	
	7分つや	61	
隠ぺい率%（白色及び淡彩色）		98～99	93以上
耐水性		合格	96時間浸したとき異常がないものとする。
耐アルカリ性		合格	48時間浸したとき異常がないものとする。
耐洗浄性		合格	500回の洗浄に耐えるものとする。
促進耐候性		合格	異常がない。
屋外曝露耐候性		合格	12ヶ月の試験で、膨れ、はがれ、及び割れがなく色の変化と白亜化の程度が見本品に比べて大きくないものとする。
防かび性		かびの発生なし	JIS Z2911 かび抵抗性試験方法に準じる。
防藻性		藻の発生なし	寒天培地法による。

## AEP クリーン 70BIO つや有り

項 目		試験結果	品質規格（JIS K5660 等に準ずる）
容器の中に状態		合格	堅い塊がなくて一様になる。
塗装作業性		合格	支障がない。
塗膜の外観		合格	正常である。
低温安定性（-5℃）		合格	変質しない。
表面乾燥性	常温乾燥	合格	2時間以内で表面乾燥する。
	低温乾燥	合格	4時間以内で表面乾燥する。
隠ぺい率%（白色及び淡彩色）		99	95以上
鏡面光沢度（60度）		85	70以上
耐水性		合格	異常がない。
耐アルカリ性		合格	異常がない。
耐洗浄性		合格	洗浄に耐える。
耐湿潤冷熱繰返し性		合格	湿潤冷熱繰返しに耐える。
促進耐候性		合格	光沢保持率が60%以上、白亜化の等級は1又は0で、色の変化の程度が見本品に比べて差がない。
屋外曝露耐候性		合格	白亜化の等級は2、1又は0で、割れ、はがれ、膨れ及び穴がなく、色とつやとの変化の程度が見本品に比べて差がない。
防かび性		かびの発生なし	JIS Z2911かび抵抗性試験方法に準じる。
防藻性		藻の発生なし	寒天培地法による。

用途

建築物内外壁など

適用素地

コンクリート・モルタル・せっこうボード・ALC パネル・スレートなど

塗装仕様

AEP クリーン BIO (つや有り・7分つや・5分つや・3分つや)

工程	塗料	調合 (重量比)	標準塗付量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数	塗装間隔 (23℃)	塗装方法	
1	下地調整	新設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・素地を十分に乾燥させる。(含水率10%以下、pH10以下)</li> <li>・素地のレイタンス・エフロレッセンス・汚れは除去し、巣穴・不陸・目違いなどは予めラフトンカチオン SC フィラーなどの建築用下地調整塗材で補修する。</li> </ul>				
		改修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存塗膜の浮き・ふくれ・ぜい弱部などはサンダー・皮スキなどを用いて除去する。</li> <li>・汚れ・じんあい及びチョーキングなどの劣化塗膜を高圧水洗 (水圧: 15MPa以上) で除去する。</li> <li>・水洗い面を乾燥させる。</li> <li>・既存塗膜の段差・不陸の箇所を同一模様になる塗材で復元する。</li> </ul>				
2	下塗	サミプラホワイト BIO シーラー 清 水	100 5 ~ 20	0.07 ~ 0.11	1	3 時間以上	はけ塗り・エアレス塗り ウールローラー塗り
3	上塗	AEP クリーン 70BIO (つや有り・7・5・3分つや) 清 水	100 5 ~ 15	0.1 ~ 0.12	2	2 時間以上 (最終養生) 24 時間以上	はけ塗り・エアレス塗り ウールローラー塗り

使用可能上塗：AEP クリーン 70BIO つや有り・AEP クリーン 70BIO 7分つや  
AEP クリーン 70BIO 5分つや・AEP クリーン 70BIO 3分つや

使用可能下塗：サミプラホワイト BIO シーラー・カチオンホワイト BIO シーラー・ワイドシーラー BIO

AEP クリーン BIO つや消し

工程	塗料	調合 (重量比)	標準塗付量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数	塗装間隔 (23℃)	塗装方法	
1	下地調整	新設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・素地を十分に乾燥させる。(含水率10%以下、pH10以下)</li> <li>・素地のレイタンス・エフロレッセンス・汚れは除去し、巣穴・不陸・目違いなどは予めラフトンカチオン SC フィラーなどの建築用下地調整塗材で補修する。</li> </ul>				
		改修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存塗膜の浮き・ふくれ・ぜい弱部などはサンダー・皮スキなどを用いて除去する。</li> <li>・汚れ・じんあい及びチョーキングなどの劣化塗膜を高圧水洗 (水圧: 15MPa以上) で除去する。</li> <li>・水洗い面を乾燥させる。</li> <li>・既存塗膜の段差・不陸の箇所を同一模様になる塗材で復元する。</li> </ul>				
2	下塗	サミプラホワイト BIO シーラー 清 水	100 5 ~ 20	0.07 ~ 0.11	1	3 時間以上	はけ塗り・エアレス塗り ウールローラー塗り
3	上塗	AEP クリーン 70BIO つや消し 清 水	100 5 ~ 15	0.1 ~ 0.14	2	2 時間以上 (最終養生) 24 時間以上	はけ塗り・エアレス塗り ウールローラー塗り

使用可能下塗：サミプラホワイト BIO シーラー・カチオンホワイト BIO シーラー・ワイドシーラー BIO



# AEP モダン BIO

EP-Si EP-CS

系 統 内装用汚染除去性特殊シリコン変性エマルジョン塗料

仕 上 がり つや消し

色 相 白・調色品（淡彩色・一部中彩色）

荷 姿 16kg・4kg

特 長

- ・環境に配慮した安全性に優れるバイオ技術により、かびや藻の発生を長期にわたり抑制します。
- ・特殊抗菌剤により、優れた抗菌性を長期にわたり発揮します。光が届きにくい環境でも抗菌性が発現します。
- ・特殊アクリルシリコンエマルジョンと微小球状顔料により、塗膜に汚れ成分が浸透しにくくなるとともに、付着した汚れも従来のエマルジョンペイントと比べて容易に除去することができます。
- ・ビニルクロスに含まれる可塑剤による影響を受けないため、ビニルクロスに直接塗装できます。
- ・VOC（揮発性有機化合物）成分及び臭気が少なく、室内空気汚染問題対策に有効な環境に優しい塗料です。

性 能	項 目	試験結果	品質規格（JIS K5663 等に準ずる）
	容器の中に状態	合格	かき混ぜたとき、堅い塊がなく一様になるものとする。
	塗装作業性	合格	2回塗り、塗装作業に支障があってはならない。
	塗膜の外観	合格	塗膜の外観が正常であるものとする。
	低温安定性（-5℃）	合格	変質してはならない。
	乾燥時間	標準状態	2時間以内
		5℃	4時間以内
	隠ぺい率（白色及び淡彩色）	99	93以上
	耐水性	合格	96時間浸したとき異常がないものとする。
	耐アルカリ性	合格	48時間浸したとき異常がないものとする。
	耐洗浄性	合格	500回の洗浄に耐えるものとする。
	促進耐候性	合格	異常がない。
	屋外曝露耐候性	合格	12ヶ月の試験で、膨れ、はがれ、及び割れがなく色の変化と白亜化の程度が見本品に比べて大きくないものとする。
	防かび性	かびの発生なし	JIS Z2911 かび抵抗性試験方法に準じる。
	防藻性	藻の発生なし	寒天培地法による。



【試験方法】各種汚れを付着させ、5分経過後に20%水希釈した中性洗剤を含ませた布でふき取り、さらに水ぶきする。

【注 意 点】※汚れは付着後、できるだけ速やかに除去してください。※乾燥条件や用途により実際とは若干の差が出ることがあります。※AEPモダンBIOの乾燥が不十分な状態では、性能を十分に発揮しない可能性があります。

【試験方法】JIS Z 2801「抗菌加工製品—抗菌性試験方法—抗菌効果」に準拠

【培養時間】24時間

用 途 建築物内外壁・廊下壁・階段壁・天井など

適用素地 コンクリート・モルタル・せっこうボード・ビニルクロス・ALCパネル・スレートなど  
注）シリコン加工された防汚クロスには塗装できません。

塗 装 仕 様	工 程	塗 料	調 合 (重量比)	標 準 塗 付 量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗 回 数	塗 装 間 隔 (23℃)	塗 装 方 法
1	下地調整	新設	・素地を十分に乾燥させる。(含水率10%以下、pH10以下) ・素地のレイタンス・エフロレッセンス・汚れは除去し、巣穴・不陸・目違いなどは予めラフトンカチオンSCフィラーなどの建築用下地調整塗材で補修する。				
		改修	・既存塗膜の浮き・ふくれ・ぜい弱部などはサンダー・皮スキなどを用いて除去する。 ・汚れ・じんあい及びチョーキングなどの劣化塗膜を高圧水洗(水圧:15MPa以上)で除去する。 ・水洗い面を乾燥させる。 ・既存塗膜の段差・不陸の箇所を同一模様になる塗材で復元する。				
2	下塗	カチオンホワイト BIO シーラー 清 水	100 0～5	0.07～0.17	1	2時間以上	はけ塗り・エアレス塗り ウールローラー塗り
3	上塗	AEP モダン BIO 清 水	100 5～10	0.1～0.12	2	2時間以上 (最終養生) 24時間以上	はけ塗り・エアレス塗り ウールローラー塗り

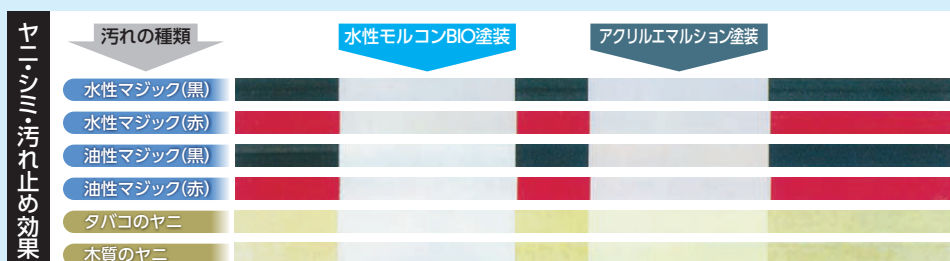
使用可能下塗：サンプラホワイト BIO シーラー・カチオンホワイト BIO シーラー・ワイドシーラー BIO



# 水性モルコン BIO

系 統	水性反応硬化形高機能エマルジョン塗料
仕 上 げ	つや消し
色 相	白・黒・赤・赤さび色・オーカー色・黄色・紺・調色品（淡彩色・中彩色・濃彩色）
荷 姿	16kg・4kg
規 格	JIS K 5663 合成樹脂エマルジョンペイント及びシーラー・合成樹脂エマルジョンペイント 1 種
特 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境に配慮した安全性に優れるバイオ技術により、かびや藻の発生を長期にわたり抑制します。</li> <li>・タバコのヤニ・シミ・汚れが軽微な場合、特殊技術の吸着・固定化機能により、本品の塗装でヤニ・シミ・汚れ止めが可能です。</li> <li>・ち密な塗膜は汚れが付きにくく、汚れても拭き取りで容易に除去できます。</li> <li>・透湿性に優れるため、素地の水分は水蒸気として外部へ放散し、塗膜のふくれ・はがれを抑制します。</li> </ul>

性 能	項 目		試験結果	品質規格（JIS K 5663 1 種等に準ずる）
	容器の中に状態		合格	かき混ぜたとき、堅い塊がなくて一様になるものとする。
塗装作業性		合格	2 回塗りで、塗装作業に支障があってはならない。	
塗膜の外観		合格	塗膜の外観が正常であるものとする。	
低温安定性（-5℃）		合格	変質してはならない。	
乾燥時間	標準状態	合格	2 時間以内	
	5℃	合格	4 時間以内	
隠ぺい率%（白色及び淡彩色）		98	93 以上	
耐水性		合格	96 時間浸したとき異常がないものとする。	
耐アルカリ性		合格	48 時間浸したとき異常がないものとする。	
耐洗浄性		合格	500 回の洗浄に耐えるものとする。	
促進耐候性		合格	異常がない。	
屋外曝露耐候性		合格	12 ヶ月の試験で、膨れ、はがれ、及び割れがなく色の変化と白亜化の程度が見本品に比べて大きくないものとする。	
防かび性	かびの発生なし		JIS Z2911 かび抵抗性試験方法に準じる。	
防藻性	藻の発生なし		寒天培地法による。	



用 途	建築物内外壁・廊下壁・階段壁・天井など
適用素地	コンクリート・モルタル・せっこうボード・ALC パネル・スレートなど

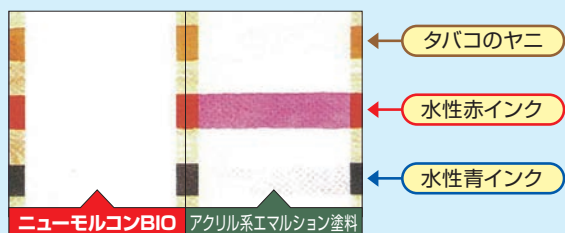
塗 装 仕 様	工 程	塗 料	調 合				塗 装 間 隔 (23℃)	塗 装 方 法
			(重量比)	標準塗付量 (kg/m <sup>2</sup> / 回)	塗回数	塗装間隔 (23℃)		
1	下地調整	新設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・素地を十分に乾燥させる。(含水率 10%以下、pH10 以下)</li> <li>・素地のレイタンス・エフロレッセンス・汚れは除去し、巣穴・不陸・目違いなどは予めラフトンカチオン SC フィラーなどの建築用下地調整塗材で補修する。</li> </ul>					
		改修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存塗膜の浮き・ふくれ・ぜい弱部などはサンダー・皮スキなどを用いて除去する。</li> <li>・汚れ・じんあい及びチョーキングなどの劣化塗膜を高圧水洗 (水圧:15MPa以上) で除去する。</li> <li>・水洗い面を乾燥させる。</li> <li>・既存塗膜の段差・不陸の箇所を同一模様になる塗材で復元する。</li> </ul>					
2	下塗	サンプラホワイト BIO シーラー 清 水	100 5 ~ 20	0.07 ~ 0.11	1	3 時間以上	はけ塗り・エアレス塗り ウールローラー塗り	
3	上塗	水性モルコン BIO 清 水	100 5 ~ 15	0.12 ~ 0.14	2	2 時間以上 (最終養生) 24 時間以上	はけ塗り・エアレス塗り ウールローラー塗り	

使用可能下塗：サンプラホワイト BIO シーラー・カチオンホワイト BIO シーラー・ワイドシーラー BIO

# ニューモルコン BIO

系 統	アクリル樹脂系非水分散形塗料
仕 上 げ	つや消し
色 相	白・黒・赤・赤さび色・オーカー色・黄色・紺・調色品（淡彩色・中彩色・濃彩色）
荷 姿	16kg・4kg
規 格	JIS K 5670 アクリル樹脂系非水分散形塗料
特 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境に配慮した安全性に優れるバイオ技術により、かびや藻の発生を長期にわたり抑制します。</li> <li>・タバコのヤニ止め・シミ押さえ効果のある塗膜です。</li> <li>・汚れがつきにくく、汚れても拭き取りで容易に除去できます。</li> <li>・微粒子樹脂を採用しているため、素地への浸透力が高く、付着性に優れています。</li> </ul>

性 能	品質規格（JIS K 5670 等に準ずる）	
	項 目	試験結果
	容器の中に状態	合格 堅い塊がなく一様になるものとする。
	塗装作業性	合格 はけ塗り及びローラー・ブラシ塗りに支障があってはならない。
	塗膜の外観	合格 塗膜の外観が正常であるものとする。
	乾燥時間（半硬化乾燥）	合格 5時間以内とする。
	隠ぺい率%（白色及び淡彩色）	96 90以上
	耐水性	合格 水に浸しても異常がないものとする。
	耐アルカリ性	合格 アルカリに浸しても異常がないものとする。
	促進耐候性	合格 塗膜に割れ、はがれ、膨れがなく、色の変化の程度が見本品と比べて大きくなく、白亜化の等級が1以下とする。
	防かび性	かびの発生なし JIS Z2911 かび抵抗性試験方法に準じる。
	防藻性	藻の発生なし 寒天培地法による。



用 途	建築物内外壁・廊下壁・階段壁・天井など
適用素地	コンクリート・モルタル・せっこうボード・ALCパネル・スレートなど

塗 装 仕 様	工 程	塗 料	調 合				塗 装 方 法
			(重量比)	標準塗分量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数	塗装間隔 (23°C)	
1	下地調整	新設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・素地を十分に乾燥させる。(含水率 10%以下、pH10 以下)</li> <li>・素地のレイタンス・エフロレッセンス・汚れは除去し、巣穴・不陸・目違いなどは予めラフトンカチオン SC フィラーなどの建築用下地調整塗材で補修する。</li> </ul>				はけ塗り・エアレス塗り ウールローラー塗り
		改修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存塗膜の浮き・ふくれ・ぜい弱部などはサンダー・皮スキなどを用いて除去する。</li> <li>・汚れ・じんあい及びチョーキングなどの劣化塗膜を高圧水洗(水圧: 15MPa 以上)で除去する。</li> <li>・水洗い面を乾燥させる。</li> <li>・既存塗膜の段差・不陸の箇所を同一模様になる塗材で復元する。</li> </ul>				
2	上塗	ニューモルコン BIO 塗料用シンナー	100 0~20	0.09~0.11	2	2時間以上 (最終養生) 24時間以上	

※吸い込みの著しい素地の場合は、下塗にワイドシーラー BIO を塗装してください。

# サミプラホワイト BIO シーラー

系 統	特殊ウレタン変性アクリル樹脂系エマルジョンシーラー
荷 姿	16kg
特 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境に配慮した安全性に優れるバイオ技術により、かびや藻の発生を長期にわたり抑制します。</li> <li>・水性で、VOC（揮発性有機化合物）成分および臭気が少なく塗装作業性が良好で、環境に優しい下塗塗料です。</li> <li>・特殊ウレタン変性樹脂により各種の下地や既存塗膜との付着性に優れています。</li> </ul>
用 途	建築物内外壁・廊下壁・階段壁・天井など
適用素地	コンクリート・モルタル・せっこうボード・ALCパネル・スレートなど

工 程	塗 料	調合 (重量比)	標準塗付量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数	塗装間隔 (23°C)	塗装方法
1 下地調整	新設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・素地を十分に乾燥させる。(含水率 10%以下、pH10 以下)</li> <li>・素地のレイトンス・エフロレッセンス・汚れは除去し、巣穴・不陸・目違いなどは予めラフトンカチオン SC フィラーなどの建築用下地調整塗材で補修する。</li> </ul>				
	改修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存塗膜の浮き・ふくれ・ぜい弱部などはサンダー・皮スキなどを用いて除去する。</li> <li>・汚れ・じんあい及びチョーキングなどの劣化塗膜を高圧水洗(水圧: 15MPa 以上) で除去する。</li> <li>・水洗い面を乾燥させる。</li> <li>・既存塗膜の段差・不陸の箇所を同一模様になる塗材で復元する。</li> </ul>				
2 下塗	サミプラホワイト BIO シーラー 清 水	100 5 ~ 20	0.07 ~ 0.11	1	3 時間以上	はけ塗り・エアレス塗り ウールローラー塗り

# カチオンホワイト BIO シーラー

系 統	ナノ・カチオン系特殊エポキシ変性アクリル樹脂系エマルジョンシーラー
荷 姿	14kg
特 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境に配慮した安全性に優れるバイオ技術により、防かび・抗菌機能を有します。</li> <li>・水性で、VOC（揮発性有機化合物）成分および臭気が少なく塗膜作業性が良好で、環境に優しい下塗塗料です。</li> <li>・カチオン系で自己架橋形の特殊エポキシ変性樹脂により各種下地や既存塗膜との付着性に優れています。</li> <li>・カチオン系で自己架橋形の特殊エポキシ変性樹脂によりヤニ・シミをしっかりと固着させ、さらに反応硬化により緻密な塗膜を形成しますので、結露水などで再びヤニ・シミのブリードを生じさせることがありません。</li> <li>・ナノサイズの微粒子エマルジョンによりぜい弱下地への浸透性に優れ、吸い込み止め・アルカリ止め効果に優れています。</li> </ul>
用 途	建築物内外壁・廊下壁・階段壁・天井など
適用素地	窯業系サイディングボード・コンクリート・モルタル・せっこうボード・ALCパネル・スレートなど

工 程	塗 料	調合 (重量比)	標準塗付量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数	塗装間隔 (23°C)	塗装方法
1 下地調整	新設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・素地を十分に乾燥させる。(含水率 10%以下、pH10 以下)</li> <li>・素地のレイトンス・エフロレッセンス・汚れは除去し、巣穴・不陸・目違いなどは予めラフトンカチオン SC フィラーなどの建築用下地調整塗材で補修する。</li> </ul>				
	改修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存塗膜の浮き・ふくれ・ぜい弱部などはサンダー・皮スキなどを用いて除去する。</li> <li>・汚れ・じんあい及びチョーキングなどの劣化塗膜を高圧水洗(水圧: 15MPa 以上) で除去する。</li> <li>・水洗い面を乾燥させる。</li> <li>・既存塗膜の段差・不陸の箇所を同一模様になる塗材で復元する。</li> </ul>				
2 下塗	カチオンホワイト BIO シーラー 清 水	100 0 ~ 5	0.07 ~ 0.11	1	2 時間以上	はけ塗り・エアレス塗り ウールローラー塗り

# ワイドシーラー BIO

ホルムアルデヒド放散等級  
F☆☆☆☆  
内装仕上げの制限なし

系 統	弱溶剤反応硬化形エポキシ樹脂系シーラー
荷 姿	14kg
特 長	・環境に配慮した安全性に優れたバイオ技術により、かびや藻の発生を長期にわたり抑制します。 ・エポキシ樹脂を使用することにより、下地に対する抜群の密着性を有します。
用 途	建築物内外壁・廊下壁・階段壁・天井など
適用素地	コンクリート・モルタル・せっこうボード・ALC パネル・スレートなど

## 塗装仕様

工 程	塗 料	調合 (重量比)	標準塗付量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数	塗装間隔 (23°C)	塗装方法	
1	新設	・素地を十分に乾燥させる。(含水率 10%以下、pH10 以下) ・素地のレイタンス・エフロレッセンス・汚れは除去し、巣穴・不陸・目違いなどは予めラフトン カチオン SC フィラーなどの建築用下地調整塗材で補修する。					
	改修	・既存塗膜の浮き・ふくれ・ぜい弱部などはサンダー・皮スキなどを用いて除去する。 ・汚れ・じんあい及びチョーキングなどの劣化塗膜を高圧水洗(水圧:15MPa 以上)で除去する。 ・水洗い面を乾燥させる。 ・既存塗膜の段差・不陸の箇所を同一模様になる塗材で復元する。					
2	下塗	ワイドシーラー BIO	100	0.08 ~ 0.17	1	3 時間以上	はけ塗り・エアレス塗り ウールローラー塗り

注 1) 吸い込みの少ない活膜などを塗りかえる場合、塗付量目安 0.05 ~ 0.07kg/m<sup>2</sup>とし、塗り過ぎにご注意ください。また、塗装間隔目安よりも乾燥に時間を要する場合がありますのでご注意ください。

注 2) 下地の吸い込みが著しい場合は 2 回塗りとし、工程内での塗装間隔は 3 時間以上としてください。

注 3) 塗装時、既存塗膜が塗料用シンナーなどの弱溶剤で溶解する場合は、「ワイドシーラー BIO」+ 弱溶剤系上塗の工程でチヂミを生じることがありますので、ご注意ください。また、強溶剤系塗料を上塗りに使用することはできません。

## 取扱い上の注意事項

- 取扱い中は、皮膚に触れないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用してください。  
防塵マスク・頭巾・保護めがね・長袖の作業衣・えり巻きタオル・保護手袋前掛けなど。
- 取扱作業場所には、必要に応じて局所排気装置を設置してください。
- 溶剤系塗料は、吸入すると有機溶剤中毒を起こす恐れがありますので、換気を良くし、蒸気・スプレーミストを吸い込まないよう、必ず保護具を着用してください。
- 容器から取り出す時に、こぼれないようにしてください。もしこぼれた場合には、布やウエスでふき取るか、砂などを散布したのち処理してください。
- 皮膚に付着した場合には、直ちに多量の石けん水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときは、医師の診察を受けてください。蒸気・臭いなどを吸い込んで気分が悪くなった時には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診察を受けてください。
- 目に入った場合には、直ちに多量の流水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合には、直ちに医師の診察を受けてください。
- 取扱い後は、手洗い・うがい・鼻孔洗浄を十分に行ってください。
- 容器を密栓し、40°C以下で子供の手の届かない一定の場所を定めて保管してください。特に下記の場所の保管は避けてください。  
雨水や直射日光の当たる場所・高温多湿の場所・潮風の当たる場所・凍結の恐れのある場所など。
- 捨てる時には、産業廃棄物として処分してください。
- 製品の容器には、取扱い上の注意事項などを記載していますので、必ずお読みいただき正しく安全にご使用ください。特に引火及び有害の危険性がある製品は、十分注意し、安全対策を行ってください。
- 詳細な内容が必要なときには、安全データシート(SDS)をご参照ください。  
SDSは当社ホームページよりダウンロードしてください。

### 【ホワイトナー使用上の注意事項】

・ホワイトナーは増色素系製品であるため、酸性タイプの製品と混ぜることで有毒性の塩素ガスを発生し、とても危険ですので他の製品と混ぜることがないよう、十分に注意してください。

・目に入った場合は失明のおそれがあるので、こすらず直ちに流水で15分以上洗い流し、痛みや異常がなくても必ず医師の診断を受けてください。

・飲み込んだ場合は、無理に吐くようなことはせず、コップ1~2杯の水か牛乳を飲むなどの処置をし、できるだけ早く医師の診断を受けてください。

・皮膚に付着した場合は、直ちに水で十分に洗い流し、異常が残る場合は医師の診断を受けてください。

・使用時は十分な換気を行ってください。目の痛みやせき込み、気分が悪くなった場合は、直ちに使用を止めてその場を離れ、空気の清浄な場所で安静にしてください。

### 【カビデット使用上の注意事項】

・ホワイトナーによる漂白剤処理後、残剤を拭き取った上で16時間以上の養生を行い、下地が十分に乾燥していることを確認してから、カビデットを塗布してください。

・皮膚に付着した場合は、炎症・かぶれなどを起こすことがありますので、石けん水で十分に洗い落とし異常が残る場合は医師の診断を受けてください。

・目に入った場合は、こすらず直ちに流水で15分間洗い流し、できるだけ早く医師の診断を受けてください。

・飲み込んだ場合は、無理に吐くようなことはせず、直ちにぬるま湯などで口の中をすすぎ、できるだけ早く医師の診断を受けてください。



## 塗装上の注意事項

- 下地は十分に乾燥させてください。(含水率 10%以下、pH10 以下)
- 段差、巣穴、ひび割れ及びボード類のジョイント部などはパテまたはラフトンカチオン SC フィラーで平滑に調整してください。(ただし、外部のパテ使用は不可)
- ALC パネル面は、ラフトンカチオン SC フィラーまたはスズカプラサフで全面に、木部の場合は 1 液ワイドウレタン木部用下塗・ヤニガード等を塗装してください。
- 取り付け金具、くぎ頭などは、予めさび止め塗料で拾い塗りしてください。
- 油污れが著しい場合は、はがれ、割れを生じますので、中性洗剤で十分に油分を落としてから、水ぶき等で中性洗剤を除去後乾燥し塗装してください。
- 気温 5℃以下、湿度 85%以上及び結露が懸念される場合は、施工を避けてください。
- 強風時や降雨・降雪のおそれのある場合は施工を避けてください。
- スプレー塗装の場合は飛散防止のための養生を十分に行ってください。
- カチオンホワイト BIO シーラーはカチオン系塗料ですので、一般の水系塗料に使用したはけ・ローラーなどの用具を共有されますと固まりますので避けてください。
- カチオンホワイト BIO シーラーは一般の水系塗料や市販種ペン等と絶対に混ぜないでください。
- カチオンホワイト BIO シーラーを小分けする際はプラスチック容器をご使用ください。金属容器の場合は、サビを生じるおそれがあります。
- 使用前に十分攪拌し、均一にしてから塗装してください。うすめすぎは隠ぺい不良、仕上がり不良などが起こりますので注意してください。  
はけ塗りとローラー塗りの仕上げが混在する場合、塗付量、仕上がり肌が異なり、若干の色差を生じる場合があります。
- たれ・かすれ・塗り残しがないよう均一に塗装してください。
- 仕様の各数値はすべて標準のものです。素地の状態、塗装方法などで多少異なります。素地が粗面の場合、模様による凹凸が大きい場合などでは、塗布量が多くなります。
- 各工程の塗装間隔及び最終養生は、所定の時間を厳守し、乾燥のために換気を十分に行ってください。
- 補修塗りは、使用した塗料(同一ロット)を用いて、同じ塗装方法で行ってください。
- 結露が多発する箇所では、塗膜表面に水溶成分が溶出しシミになる場合があります。著しい結露が予想される場所への塗装は避けてください。
- 塗装後の乾燥が不十分な状態で降雨や結露などがあると、白化・色浮きなどを生じることがあります。その時は、十分乾燥後、再塗装してください。
- 色相によっては降雨、結露により変色したように見える場合がありますが、塗膜の乾燥と共に元の色相に戻ります。
- シーリング材への直接塗装は、硬化不良を生じたり、塗膜に割れ、剥がれ、汚れを生じることがあるため行わないでください。やむを得ず塗装を行う場合は、必ずシーリング材が十分に硬化していることを確認の上、予めラフトン逆プライマーを塗装してください。(ポリサルファイド系シーリング材の場合は 2 回塗りしてください。シリコン系及びブチルゴム系シーリング材へは、塗装を避けてください。)
- 塗装後の刷毛などの用具は早めに洗浄してください。
- 臭いは、食料品・飲食器・衣類などに移る場合がありますので、作業場所から遠ざけるか、または養生するなど、十分に注意してください。
- スプレーミストや臭い・蒸気などが、居住者・隣家・車輛などに飛散しないよう留意し、十分な養生を行ってください。
- AEP クリーン 70BIO つや消しは JIS K5663 1 種、ニューモルコン BIO は JIS K 5670 に合格した製品ですが、外壁にはより耐久性を向上させたビーズコート BIO シリーズをご推奨いたします。
- 旧塗膜につやがある場合や柔らかい塗膜の場合は、塗替えに適さない塗料の種類がありますので試し塗りをしてから本塗装を行ってください。
- 冴えた色を使用する場合、素地の隠ぺい性が劣る可能性がありますので試し塗りをしてから本塗装を行ってください。
- 濃彩色の場合、塗膜に強く接触すると衣類などに付着する可能性がありますのでご注意願います。
- ドアパッキン、ゴム、プラスチックなど可塑性を含むものに本品塗装面が接触すると、粘着の発生やはく離を起こす場合がありますので、接触が予想される箇所には塗装を避けてください。
- ベンチ、ジャングルジムなど人が乗るもの、またテーブル、カウンター、棚など物を置くものへの塗装は避けてください。
- BIO シリーズは、かびや藻などの繁殖抑制効果を示すものです。  
施工部位の形状(水分が滞留しやすい壁面など)や環境(植栽、森林、湖沼などに隣接している壁面、建物の北面、かげなど常時湿度が高い壁面など)により、防かび・防藻性能が十分発揮されない場合があります。また、防かび・防藻剤の効果は永久に持続するものではありませんので、抑制効果の低下と共に経時的にはかびや藻などが再発生する可能性があります。



<https://www.suzukafine.co.jp>



iPad / iPhone用簡易カラーシミュレーションアプリ

**i Color Paint**



営業本部 〒510-0101 三重県四日市市楠町小倉1058-4  
☎059-397-2187 FAX 059-397-6191

研究開発本部 〒510-0851 三重県四日市市塩浜町1  
☎059-346-1116 FAX 059-346-4585

③ 取扱店

札幌支店 ☎0133-60-6311 広島支店 ☎082-277-1116  
東京支店 ☎03-5661-2211 四国支店 ☎0877-24-4621  
名古屋支店 ☎052-411-1255 九州支店 ☎092-938-0071  
大阪支店 ☎072-862-1601

●このカタログに記載の商品の内容は、改良などのため予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。